

様式第23号（第5条関係）

令和 5 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所在地	笠岡市今立2399番地
協議会名	今井地区まちづくり協議会
協議会長名	会長 小寺 主

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）
変更申請書（兼）実績報告書

令和 4 年 6 月 1 日付け笠岡市指令協第 51 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり交付額の変更を申請します。併せて、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

1 変更交付申請額 587,120 円
(交付金決算額)

[内訳]

(単位：円)

交付決定額 ①	変更交付申請額（交付金決算額）		返還額 ④
	当該年度支出額 ②	次年度繰越額 ③	
600,000	530,808	56,312	12,880

2 交付金が減額変更になった理由

活動内容・規模等の見直しによる活動費用の精査をしたため

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書（様式第24号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書
(様式第25号又は様式第25号の1)
- (3) 支払書類（レシート等）の原本（活動ごとに取りまとめたもの）
- (4) 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- (5) その他参考となる書類

様式第24号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 今井地区まちづくり協議会

活動No	1
活動名	今井イノコミプロジェクト
前年からの繰越金	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	当地区でも、イノシシが休耕地・農地を走り、ゲシを壊し、里にも出没するようになりました。このままでは、被害が拡大し地域は崩壊していきます。そこで、地区が元気になる仕組みづくりとしてイノシシ駆除プロジェクトを立ち上げる。
【効果】	私たちの生活は守られ、地区コミュニケーションの活性化が期待される。

2 実施期間

令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日
 (計画期間 3 年中 2 年目)

3 実施場所

今年度は、今井地区の今立・園井にて駆除実施し、来年度は、馬飼・広浜にて狩猟免許取得を目指し、今井全域を対象とする。

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 510 人 (ア+イ)
 (内訳) 企画運営に関わった人数： 360 人 (ア)
 その他関係人数 (当日参加者等)： 150 人 (イ)
 ○団体： (団体名) _____, (団体名) _____
 (団体名) _____, (団体名) _____

5 実施内容

添付【資料A】のように、毎月初めに例会を開き、イノシシの出没状況・他まちづくり事業等を会員で共有し、新たな課題解消するなか、本年度は捕獲数51頭となった。また、新規地域住民組織として馬飼班も立ち上げることができた。ジビエ化は、捕獲したイノシシが疥癬病恐れのものも多く3回しかトライできなかった。しかし、今井産イノシシを活用した今井夏収穫祭、今井うまいやでの2回にわたる試食コーナーにてまちづくり活動の啓蒙・啓発活動に挑戦することができた。このような状況をSNSで発信した。

6 決算額

431,034 円 (うち交付金分) 431,034 円)

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	地域への情報発信・捕獲実績により、地域住民アンケートによると地区民の関心度をアップさせることができています。また、捕獲数は昨年度の約10倍となった。
【課題】	危険を伴う作業なので会員に安全な捕獲を徹底すること。ジビエ化の普及に努め、食肉処理場を移動1時間以内の場所に設立すること。

様式第25号の1（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 今井地区まちづくり協議会

活動No	1
活動名	今井イノコミプロジェクト

【収入の部】

（単位：円）

区 分	予算額（Ⅰ）	決算額（Ⅱ）	差引	摘 要
市交付金	① 436,000	② 379,688	56,312	当該年度分
	⑤ 51,346	⑥ 51,346	0	前年度からの繰越分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
計	487,346	431,034	56,312	

【支出の部】

（単位：円）

区 分	予算額	決算額	差引	摘 要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	246,346	226,449	19,897	〃
役務費	48,000	50,660	△ 2,660	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費	101,000	119,725	△ 18,725	〃
備品購入費	55,000	0	55,000	〃
公課費	37,000	34,200	2,800	〃
			0	
計	487,346	431,034	56,312	決算額のうち市交付金分 ②+⑥ 431,034

< 交付金内訳 >

		当該年度分		前年度からの繰越分	
予算	(Ⅰ)のうち	①	436,000	⑤	51,346
決算	(Ⅱ)のうち	②	379,688	⑥	51,346
余剰金		①-②	56,312	⑤-⑥	0
	うち次年度繰越額	③	56,312	(次年度繰越額)	
	うち返還額	④	0		

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 今井イノコミプロジェクト

費目	需用費	食糧費
----	-----	-----

No. 1 ↑ドロッパダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	6	16	モダンパック	カレー皿・アイスカップ等	5,984	5,984
2		6	17	キジトラ招福堂	イノシシ肉代 (365g)	1,800	7,784
3		6	30	楽天市場	森永ドライミックス900g×3	4,680	12,464
4		7	23	ナフコ鴨方	ポリ袋 548円/100枚×3	1,644	14,108
5		7	28	キジトラ招福堂	モモ4.3kg、ロース1kg	24,850	38,958
6		7	29	オンリーワン	水 @91×3	295	39,253
7		7	29	ザ・ビッグ笠岡	カットトマト等食材	5,355	44,608
8		7	27	food dasket	らっきょう酢等食材	1,354	45,962
9		7	30	購入者1	米代10kg	1,500	47,462
10		7	30	購入者2	玉ねぎ、じゃがいも	990	48,452
11		7	30	購入者3	人参	500	48,952
12		7	6	堂店	お茶代@100円×10	1,000	49,952
13		10	28	キジトラ招福堂	ジビエ試作費モモ2.89kg×@450	13,000	62,952
14		12	28	キジトラ招福堂	ジビエ試作費モモ4.2kg×@550	23,100	86,052
15	5	3	11	ホリデイ	ぼたん鍋用カップ 100個	1,676	87,728
16	5	3	8	オンリーワン	ゴボウ・えのき茸	902	88,630
17	5	3	9	ザ・ビッグ笠岡	みそ・豆腐	826	89,456
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						89,456	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 今井イノコミプロジェクト

費目	需用費	消耗品費
----	-----	------

No. 1 ↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	7	1	ユーホー	切断砥石100mm (箱異切断用)	602	602
2		8	2	ナフコ鴨方	道路線引き用スプレー@1138×1	1,138	1,740
3		9	12	笠岡グリーンセンター	すくも袋 (イノシシ搬送用)	600	2,340
4		10	12	ナフコ鴨方	道路線引き用スプレー@1138×1	1,138	3,478
5		10	21	小林保商店	ワイヤーメッシュ6×100 1m×2m@1800×14×1.1	27,720	31,198
6		10	24	ホリディ (株)	箱わな部品 17点×3セット	65,381	96,579
7		10	6	ユーホー	トラックシート (イノシシ搬送用)	4,708	101,287
8		11	24	ホリディ (株)	箱わな部品ワイヤークリップ9	2,288	103,575
9	5	2	16	ホリディ (株)	箱わな用コンパネ・ワイヤー他	33,418	136,993
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						136,993	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 今井イノコミプロジェクト

費目 備品購入費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	7	13	日本一安いわなの店	放血ナイフ@6500×2+送670+代400	15,477	15,477
2		7	13	ナンバ	トロ舟特大1201@6468×1	6,468	21,945
3		7	25	タマデン工業	電気止め刺し器一式	37,180	59,125
4	5	2	9	タマデン工業	電気止め刺し器一式	33,000	92,125
5		2	14	(株) 塚本無線	トレイルカメラ2台	27,600	119,725
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						119,725	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 今井イノコミプロジェクト

費目 公課費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	10	17	井笠食品衛生協会	狩猟税 (1人分)	5,500	5,500
2		10	17	井笠食品衛生協会	狩猟税 (1人分)	8,200	13,700
3		10	7	農政水産課	狩猟税 (1人分)	4,100	17,800
4		10	7	農政水産課	狩猟税 (1人分)	4,100	21,900
5		10	7	農政水産課	狩猟税 (1人分)	4,100	26,000
6		10	7	農政水産課	狩猟税 (1人分)	4,100	30,100
7		12	7	農政水産課	狩猟税 (1人分)	4,100	34,200
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						34,200	

自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 1

協議会名	今井地区まちづくり協議会
活動名	今井イノコミプロジェクト

活動目的	当地区でも、イノシシが休耕地・農地を走り、ゲシを壊し、里にも出没するようになりました。このままでは、被害が拡大し地域は崩壊していきます。そこで、地区が元気になる仕組みづくりとしてイノシシ駆除プロジェクトを立ち上げる。
実施内容	添付【資料A】のように、毎月初めに例会を開き、イノシシの出没状況・他まちづくり事業等を会員で共有し、新たな課題解消するなか、本年度は捕獲数51頭となった。また、新規地域住民組織として馬飼班も立ち上げることができた。ジビエ化は、捕獲したイノシシが疥癬病恐れのものも多く3回しかトライできなかった。しかし、今井産イノシシを活用した今井夏収穫祭、今井うまいやでの2回にわたる試食コーナーにてまちづくり活動の啓蒙・啓発活動に挑戦することができた。このような状況をSNSで発信した。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	4
	活動の目的・効果を地域のみならず共有することができたか。	4
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	4
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	4
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	4
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	4
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	4
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	4
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	4
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	4
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	4

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
地域への情報発信・捕獲実績により、地域住民アンケートによると地区民の関心度をアップさせることができています。また、捕獲数は昨年度の約1.0倍となった。	危険を伴う作業なので会員に安全な捕獲を徹底すること。ジビエ化の普及に努め、食肉処理場を移動1時間以内の場所に設立すること。

今後の活動の方向性・改善策

捕獲数増を目指し、休耕地対策・防災対策等の課題とタイアップする活動にもっていききたい。そして、イノシシの命を大切にする活動にもっていききたい。

様式第24号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 今井地区まちづくり協議会

活動No	2
活動名	花いっぱい事業
前年からの繰越金	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	空き地に花を植え、住みよい街となるようにとの願いから「ふれあい花壇」を作ることにした。そのほか、公共施設の花壇に花を植え、そこが心の癒しの施設になるようにしたいと願っている。
【効果】	住みやすい街となるようにとの願い、花壇に花を植え、そこが心の癒しの施設となるようにしたいと願っている。小学校へも提供し情操教育および将来の地域人材として活躍するところを育てる。

2 実施期間

令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日
 (計画期間 年中 年目)

3 実施場所

県道60号、今立から笠岡に向かう場所。その他今井公民館、今井小学校、まちづくり事務所など。

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 187 人 (ア+イ)
 (内訳) 企画運営に関わった人数： 20 人 (ア)
 その他関係人数 (当日参加者等)： 167 人 (イ)
 ○団体： (団体名) 第一部会, (団体名) 第二部会有志
 (団体名) 広報紙有志, (団体名) まち協ボランティア

5 実施内容

毎月、1回の部会開催予定であったが、コロナ禍のため実施場所を屋内から屋外へと変更した。夏から秋にかけては、マリーゴールド・ポーチュカカ・サルビア等を植え、冬から春にかけては、パンジー・ビオラ・ストック・ノースポールを植え育てる。

6 決算額

151,120 円 (うち交付金分 151,120 円)

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	年間2回のふれあい花壇への花の栽培実施。夏期600リットルの散水実施。花壇維持の為に一斉草取りを実施。
【課題】	夏期は道路端の日当たりが良すぎるため、散水を実施しているがなかなか自然相手のため散水時期の設定が難しい、水汲みが大変。

様式第 2 5 号（第 5 条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 今井地区まちづくり協議会

活動No	2
活動名	花いっぱい事業

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 164,000	151,120	12,880	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	164,000	151,120	12,880	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	154,000	151,120	2,880	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料	10,000	0	10,000	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	164,000	151,120	12,880	決算額のうち市交付金分 ② <u>151,120</u>

市交付金の余剰金 ①-② 12,880 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 12,880 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 花いっぱい事業

費目 需用費

No. 1 ↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	5	10	堂店	4/6 お茶代100円×11人	1,100	1,100
2		5	10	堂店	4/10 お茶代100円×17人	1,700	2,800
3		6	6	堂店	5/14 お茶代100円×11人	1,100	3,900
4		6	25	ローソン	6/25 コピー代	600	4,500
5		8	8	ヴィレッジ興産	花苗代(夏・秋用) 1100本	60,500	65,000
6		8	27	ローソン	資料コピー代	510	65,510
7		8	12	堂店	6/25 お茶代100円×12人	1,200	66,710
8		8	12	堂店	7/9 お茶代100円×14人	1,400	68,110
9		8	12	堂店	7/30 お茶代100円×10人	1,000	69,110
10		9	5	堂店	8/20 お茶代100円×14人	1,400	70,510
11		10	18	堂店	9/10 お茶代100円×9人	900	71,410
12		10	18	堂店	9/24 お茶代100円×12人	1,200	72,610
13		11	7	堂店	10/22 お茶代100円×10人	1,000	73,610
14		12	5	堂店	11/19 お茶代100円×16人	1,600	75,210
15		12	13	ローソン	10/21・11/26・29資料コピー代	1,000	76,210
16		12	19	ヴィレッジ興産	花苗代(冬用) 500本1段	28,600	104,810
17	5	1	10	堂店	12/19 お茶代100円×17人	1,700	106,510
18		1	23	ヴィレッジ興産	1/23 花苗代(冬用) 500本	27,500	134,010
19		2	10	ユーホー	ガソリン携行缶 他	3,110	137,120
20		2	11	エディオン	プリンターインク代	7,440	144,560
21		2	11	内海(株)	ガソリン代	4,500	149,060
22		2	11	内海(株)	混合油オイル	260	149,320
23		2	16	堂店	1/8 お茶代100円×16人	1,600	150,920
24		2	25	ローソン	資料コピー代	200	151,120
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						151,120	

自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 2

協議会名	今井地区まちづくり協議会
活動名	花いっぱい事業

活動目的	空き地に花を植え、住みよい街となるようにとの願いから「ふれあい花壇」を作ることにした。そのほか、公共施設の花壇に花を植え、そこが心の癒しの施設になるようにしたいと願っている。
実施内容	毎月、1回の部会開催予定であったが、コロナ禍のため実施場所を屋内から屋外へと変更した。夏から秋にかけては、マリーゴールド・ポチュラカ・サルビア等を植え、冬から春にかけては、パンジー・ピオラ・ストック・ノースポールを植え育てる。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	2
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	3
	活動に参加するinnで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてinnで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	2
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
年間2回のふれあい花壇への花の栽培実施。夏期600リットルの散水実施。花壇維持の為の一斉草取りを実施。	夏期は道路端の日当たりが良すぎるため、散水を実施しているがなかなか自然相手のため散水時期の設定が難しい、水汲みが大変。

今後の活動の方向性・改善策

活動資金のカットがあり、当初計画より花の本数減、規模の縮小を余儀なくされた。4月より今井小学校が廃校になるため、小学校に対しての花を育てることでのふれあいができなくなった。